

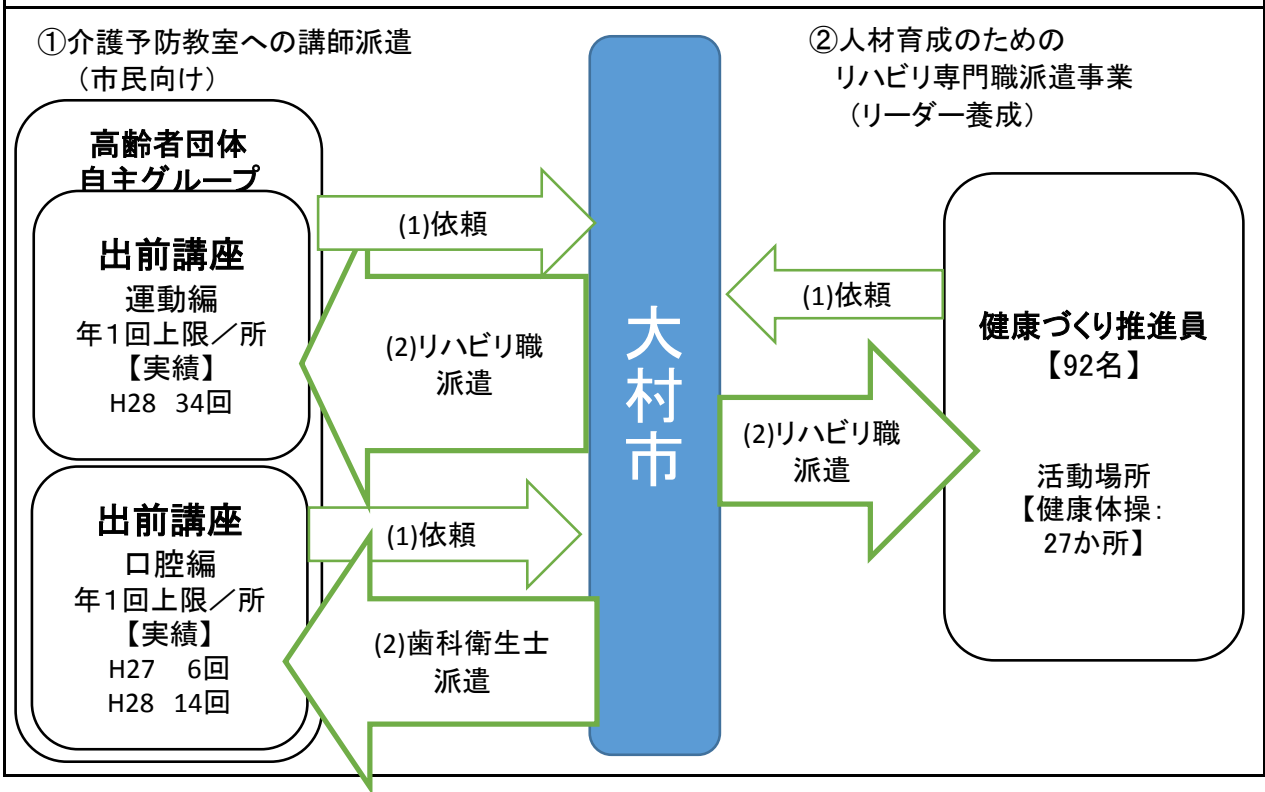
事業概要シート

施策 0603 高齢者を地域で支える体制の整備 <>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	地域リハビリテーション推進事業	現状維持	予算額	1,796 千円
			<<	2,208 >>千円
事業期間	平成30年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	449 千円
根拠法令 要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱		県支出金	225 千円
			地方債	千円
			その他	485 千円
			一般財源	637 千円

【事業の目的・概要・対象】

- 1) 目的 高齢者が身近な場所で運動に取り組み、日頃から身体機能の維持・向上に努め、介護予防・重症化予防を図る。また、口腔に関する普及啓発を行い、口腔機能の重症化予防を図る。
- 2) 概要
 - ①介護予防教室(出前講座：運動編、口腔編)への講師派遣
出前講座・運動編への講師(理学療法士・作業療法士)派遣、口腔編への講師(歯科衛生士)派遣を行い、地域住民へ運動と口腔に関する介護予防について普及啓発を行う。
 - ②人材育成のためのリハビリ専門職派遣事業
地域で活動している健康づくり推進員のフォローアップ研修として、健康づくり推進員が活動する場へ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種を派遣し、人材育成を行う。
- 3) 対象 高齢者と地域のリハビリテーション活動を支える健康づくり推進員



【背景】

加齢に伴う筋力や関節可動域の低下は高齢者にとって転倒のリスクが高まるだけでなく、日常生活や社会参加の意欲の低下にも影響を与えることから、高齢者が身近な場所でリハビリテーション活動を行えるよう地域リハビリテーションの充実を進めていく必要があるが、マンパワーが不足している。そのため、既存の社会資源(高齢者団体・自主グループ、健康づくり推進員、リハビリ専門職、歯科衛生士)を活用しながら、人材育成を行う必要がある。

担当課	長寿介護課	課長	前川 靖彦
担当者	川嶋 富久	問合せ先	0957-53 - 8141 (内線201)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	運動に関する出前講座開催数	回			35	26	26
②	口腔に関する出前講座開催数	回			10	11	11

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	健康づくり推進員の健康体操活動数	箇所			46	46	46
②		箇所					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	2,208	1,796	1,796	1,796	7,596
国庫支出金			552	449	449	449	1,899
県支出金			276	225	225	225	951
地方債							0
その他			596	485	485	485	2,051
一般財源			784	637	637	637	2,695
人件費		0	3,335	3,335	3,335	3,335	13,339
職員(人)			0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	1.60人
時間外勤務(h)			213h	213h	213h	213h	852h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	5,543	5,131	5,131	5,131	20,935

妥当性 (市の関与)	高齢者が増加する中、身近な地域において、介護予防や社会参加、交流を図る場を整備する必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	高齢者が住み慣れた地域において、いつまでも元気に過ごすために、リハビリ専門職・歯科衛生士が地域に出向いて地域組織の支援・育成を行うことは、有効である。
効率性 (コスト)	専門職の派遣のための必要最低限の経費である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--